青少年ふくしま

福島県青少年育成県民会議
第８３号
令和７年１２月１８日

少年の主張福島県大会を開催しました

〈期日〉 令和７年９月２５日（木）　〈会場〉 喜多方プラザ文化センター

「少年の主張」は、たくさんの夢や希望を抱いている中学生が、日常生活で感じたり考えたりしていることをまとめ主張することで、広く社会に目を向ける機会を提供すると共に、大人の青少年への理解を高めることをねらいとして１９７９年から実施しています。

毎年多くの中学生が参加しており、４７回目を迎えた今年は、県内１０，７５６名（１６８校）の中学生から応募がありました。

喜多方市で開催した「第４７回少年の主張福島県大会」には、２次審査を経て選考された中学生１６名が出場し、それぞれの思いをこめた主張を堂々と発表しました。

最優秀賞

福島市立岳陽中学校	３年	高橋　美衣	見えないからこそ、見えたこと

優秀賞

天栄村立天栄中学校	３年	芳賀　奏	僕の普通と兄
喜多方市立塩川中学校	３年	薄　百花	違いはちから
会津若松市立第一中学校	３年	薄　昊平	若者ができる思いやり
猪苗代町立猪苗代中学校	３年	福地　陽	「働く」ってだるい？
田村市立滝根中学校	３年	先﨑　星愛	私が俺になるまで

優良賞

白河市立表郷中学校	３年	藤田　玲羽	ボランティア活動から広がる持続可能な未来
福島県立会津学鳳中学校	３年	小椋　望睦	伝統を守るために
会津若松ザベリオ学園中学校	２年	佐藤　叶愛	「普通」という壁を壊して
いわき市立湯本第二中学校	３年	椎名　和人	いじめのない社会を目指して
会津若松市立第六中学校	３年	田勢　碧生	三百六十度への前進
須賀川市立第一中学校	３年	津吹　直孝	心も身体も動かしたい！！
白河市立東北中学校	３年	兼子　心優	同調行動への向き合い方
いわき市立四倉中学校	３年	門馬　実央莉	誰かの痛みになる前に
伊達市立梁川中学校	３年	中村　大志	言葉と私たち
会津若松市立第三中学校	３年	千葉　優里菜	「飛べない」ことへの理解

○　最優秀賞を受賞した高橋美衣さん（岳陽中）は、福島県代表として北海道・東北ブロック大会に進み、審査の結果、ブロック代表として全国大会の発表者 12 名の一人に選ばれました。

高橋さんは、１１月１６日に東京都で開催された「第４７回少年の主張全国大会～わたしの主張2025～」で主張発表を行い、審査委員会委員長賞を受賞しました。

〈作品紹介〉　第４７回少年の主張福島県大会　最優秀賞
第47回少年の主張全国大会　審査委員会委員長賞

【少年の主張福島県大会での発表】

見えないからこそ、見えたこと

福島市立岳陽中学校　3年　　高橋　美衣

あの一瞬。油断したあの一瞬が、私の人生を大きく変えてしまったのです。

四歳のある日。私は、道路に飛び出しました。「ドン！」目の前が、一気に真っ暗になりました。「痛い、痛い。」私は泣き叫んだそうです。次の日の新聞に載るほどの事故でした。頭蓋骨と鼻の骨折、そして、左目の眼球破裂。私の左目は、全く見えなくなりました。そしてもう、二度と治りません。

あの日から、左目に注目される毎日が始まりました。何度も何度も、「目、どうしたの？」「目、大丈夫？」と言われるたび、「私は人と違う」という感覚が大きくなりました。

そして小学校に上がった頃。私は決定的な言葉をかけられました。

「目、変じゃない？」

体中に衝撃が走って、息が苦しくなって、涙が止まらなくなりました。ずっと気にしていた人と違うことが、悪いことだとはっきり突きつけられたのです。私は人と違うことが怖くなって、鏡を見ることもできなくなりました。

でも、私には一つだけ、誰にも負けない特技があります。それは、ピアノです。母が、ふさぎ込んでばかりだった私に、ある動画を見せてくれました。ショパンの「別れの曲」でした。あの時の感動は、今でも忘れられません。とたんに、ピアノの世界にぶわっと引き込まれたのです。

そして、ピアノを弾いていた辻井伸行さんは、生まれつき目が両方とも見えないと知りました。私は四歳までは見えていたし、片目は今でも見えている。そう思ったら、私にもできる気がしてきたのです。弾いてみたら楽しくて、楽しくて、私はピアノが大好きになりました。

そして小学五年生の発表会の時のこと。演奏の後、知らないおばあちゃんが、「素晴らしかったね」と褒めてくれたのです。ピアノの演奏だけを、褒めてくれたのです。

人生で、一番嬉しかったです。私は一瞬、「目が見えないのにすごいね」と言われていると思いました。しかしおばあちゃんは、私のピアノだけを聴いて、褒めてくれました。それが、何よりも嬉しかったのです。左目を失って、ピアノと出会えたからこそ、私は本当の「私」を、みんなに表現できるようになったのです。

「多様性を認める社会に。」いい感じの言葉です。しかし私は、「認めない」多様性が、たくさん隠れていると思うのです。もし、ピアノを弾けなかったら？もし、一人で動けない障がいがあったら？私はこれほど、みんなに支えてもらえたのでしょうか。

多様性は、認めるのではありません。ただ、そこにあるのです。左目が見えなくて、外見が人と違うのも多様性。ピアノが得意なのも英語が苦手なのも多様性です。私は毎年、クラス合唱の伴奏をします。近くに英語が得意な子がいたら、私は教えてもらいます。

会場の皆さんだって、同じです。料理が苦手な人。運動が得意な人。しゃべるのは苦手な人。みんな違うから、お互い助けたり、助けられたりする。何も、特別なことはないのです。

私は人と違って、左目が見えません。しかし、いや、だからこそ、見えない人の苦しさを、助け合うことの素晴らしさを、みんなに伝えることができるのです。

そう。私は、障がい者ではありません。私は、皆さんと同じ、「多様者」です。

～全国大会発表を終えて～

賞を受賞できたことはもちろん、たくさんの方々に自分の思いを届けられたことが、何より嬉しく感じました。　　（福島市立岳陽中学校　3年　高橋　美衣さん）

令和７年度「家庭の日」作品

６月１５日から９月３日にかけ、小学生、中学生及び高校生を対象に「家庭の日」作文作品、絵画・ポスター作品を募集したところ、作文部門１，１５０点、絵画・ポスター部門１２５点(絵画７３点、ポスター５２点)の応募がありました。

昨年度と比べて、小学生の作文の応募は増加しましたが絵画の応募は減少しました。中学生については、作文の応募は減少しましたがポスターの応募は増加しました。また、高校生のポスター応募については、昨年度よりも増加しました。

作文の部は第三次審査会、絵画・ポスターの部は第二次審査会を実施して入賞作品を選考し、作文、絵画・ポスター合わせて、最優秀賞８点、優秀賞１８点、優良賞４３点を決定しました。

最優秀賞受賞者には、１１月２０日（木）にパルセいいざかで開催された「令和７年度福島県青少年健全育成推進大会」において、福島県こども未来局長から賞状と副賞が授与されました。

《 令和７年度「家庭の日」作品 「最優秀賞」受賞者一覧 》

作文部門　最優秀賞

西会津町立西会津小学校	１年	渡部　花乃	おべんとうリレー
いわき市立植田小学校	３年	櫛田 ひなの	どうして妹はまねをするのか
玉川村立玉川第一小学校	６年	矢吹　介人	家族とのうでずもう
喜多方市立塩川中学校	３年	五十嵐 あかり	父と私のコミュニケーション

絵画・ポスター部門　最優秀賞

【絵 画】

国見町立国見小学校	２年	阿部　心晴	みんなで魚つり
磐梯町立磐梯第二小学校	５年	加藤 明寿香	家族と親戚が集まるお盆休み

【ポスター】

浅川町立浅川中学校	２年	佐々木 梨夢	大切な家族の時間
福島県立福島西高等学校	１年	安齋　春	繋がる愛家庭の日

○　最優秀賞の作文、絵画・ポスター作品、及び優秀賞の絵画・ポスター作品は、福島県青少年会館２階に展示しています。

〈作品紹介〉

「家庭の日」作文部門（１・２年の部）最優秀賞

【県青少年健全育成推進大会での発表】

おべんとうリレー

西会津町立西会津小学校 1年　渡部　花乃

「かのちゃん、ちょっときて。」

　だいどころから、おとうさんのこえがきこえてきました。わたしはそのこえのあいずをいつもこころまちにしています。

「おべんとうのひだ。」

　わたしのおとうさんは、いつもわたしのすきなおかずをたくさんいれてくれて、つめるときには、きせつにあったおべんとうにしてくれます。はるはひなまつりべんとう、なつはおにぎりをうきわのかたちにしたかいすいよくべんとう、あきはうさぎがもちつきをしているおつきみべんとう、ふゆはさんたのおじいさんがわらっているくりすますべんとう。わたしは、どのおべんとうもだいすきです。

　だいどころによばれたわたしのしごとは、さいごのしあげときんちゃくぶくろにおべんとうをいれることです。おとうさんがつくってくれたおべんとうをていねいにしあげをし、かたちをくずさないようにきんちゃくぶくろにいれることはとてもきんちょうします。

　あるとき、わたしはおとうさんに、

「なんで、たのしそうにおべんとうをつくっているの。」

ときいてみました。おとうさんは、

「かのちゃんがおなかをすかせてべんとうのふたをあけたときのよろこんだかおをそうぞうしてつくっているんだよ。」

とおしえてくれました。

　わたしは、はるからしょうがくせいになり、いまではじぶんのえぷろんをきておとうさんとだいどころにたっています。たまごをわるしごともふえました。まだ、ぜんぶはつくれませんが、いっしょうけんめいれんしゅうをして、いつかおとうさんのおべんとうをつくります。おとうさんのよろこんだかおをそうぞうするといまからたのしみです。

【連絡・問い合わせ先】
住所　〒960－8153　福島市黒岩字田部屋５３－５（福島県青少年会館内）
TEL　０２４－５４６－０００２　　FAX　０２４－５４６－８３１２
E-mail　f-kenminkaigi@fukushima-youth.com/
HP アドレス　http://www.fukushima-youth.com/